



2023/12/8 都道府県がん診療連携拠点病院緩和ケア部会

専門的がん疼痛治療に関する 地域連携のためのコンサルテーション

国立がん研究センター中央病院 緩和医療科
里見絵理子

内容

- **がん疼痛治療の本邦の状況**
- **専門的がん疼痛治療に関する実態調査**
 - 2019-2021厚労科研「がん患者の療養生活の最終段階における体系的な苦痛緩和法の構築に関する研究」班 調査
- **専門的がん疼痛治療コンサルテーションシステムについて**
 - 2022-2024厚労科研「がん関連苦痛症状の体系的治療の開発と実践および専門的がん疼痛治療の地域連携体制モデル構築に関する研究」班

がん疼痛治療 の背景

- ・亡くなる前の1か月に「痛み」が少なく過ごせたがん患者の割合は47.2%である

厚生労働省委託事業がん患者の療養生活の最終段階における実態把握事業

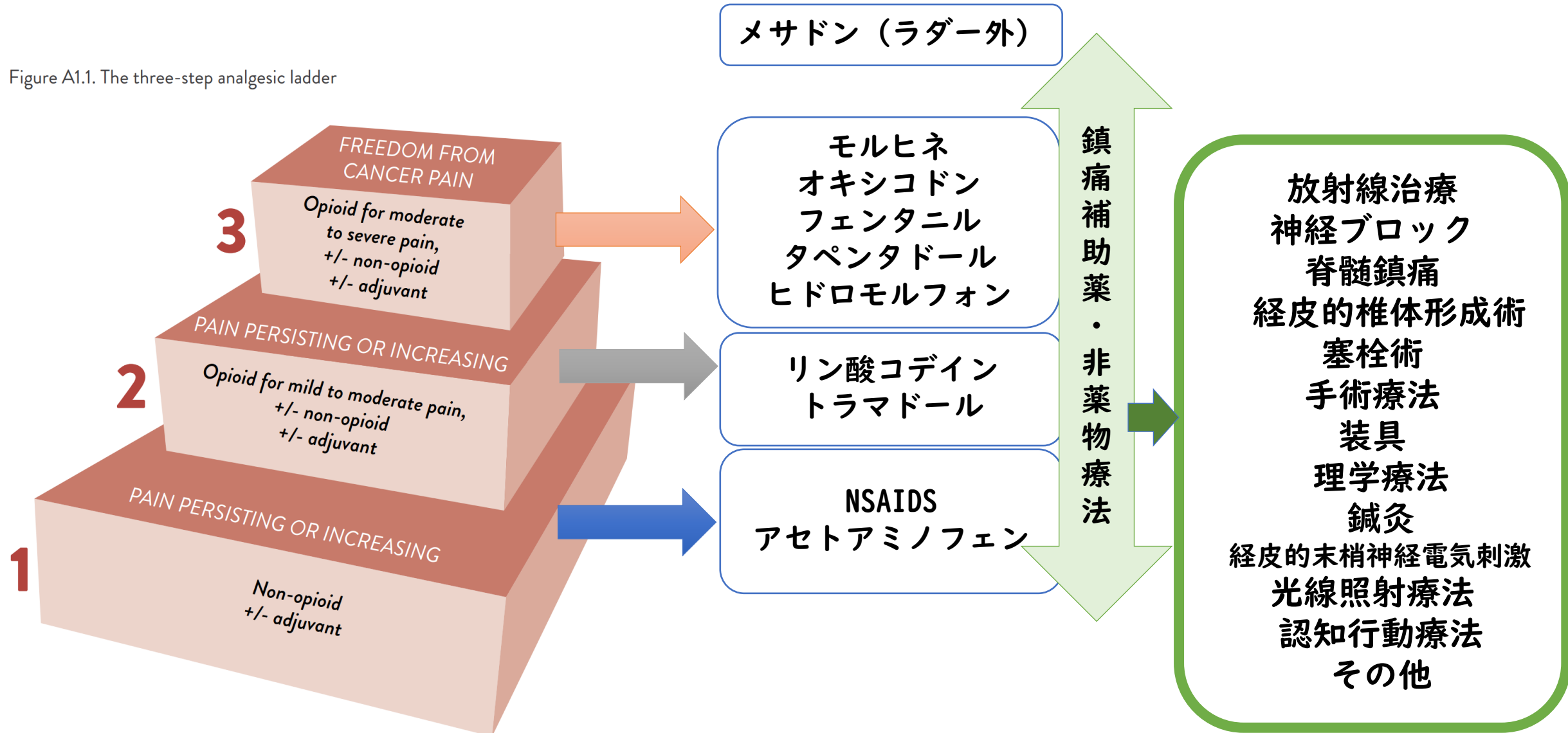
- ・がん疼痛緩和が不十分である患者の割合は38%、施設間で有意差がある

平成27年度厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）

がん診療拠点病院におけるがん疼痛緩和に対する取り組みの評価と改善に関する研究班（細川班）

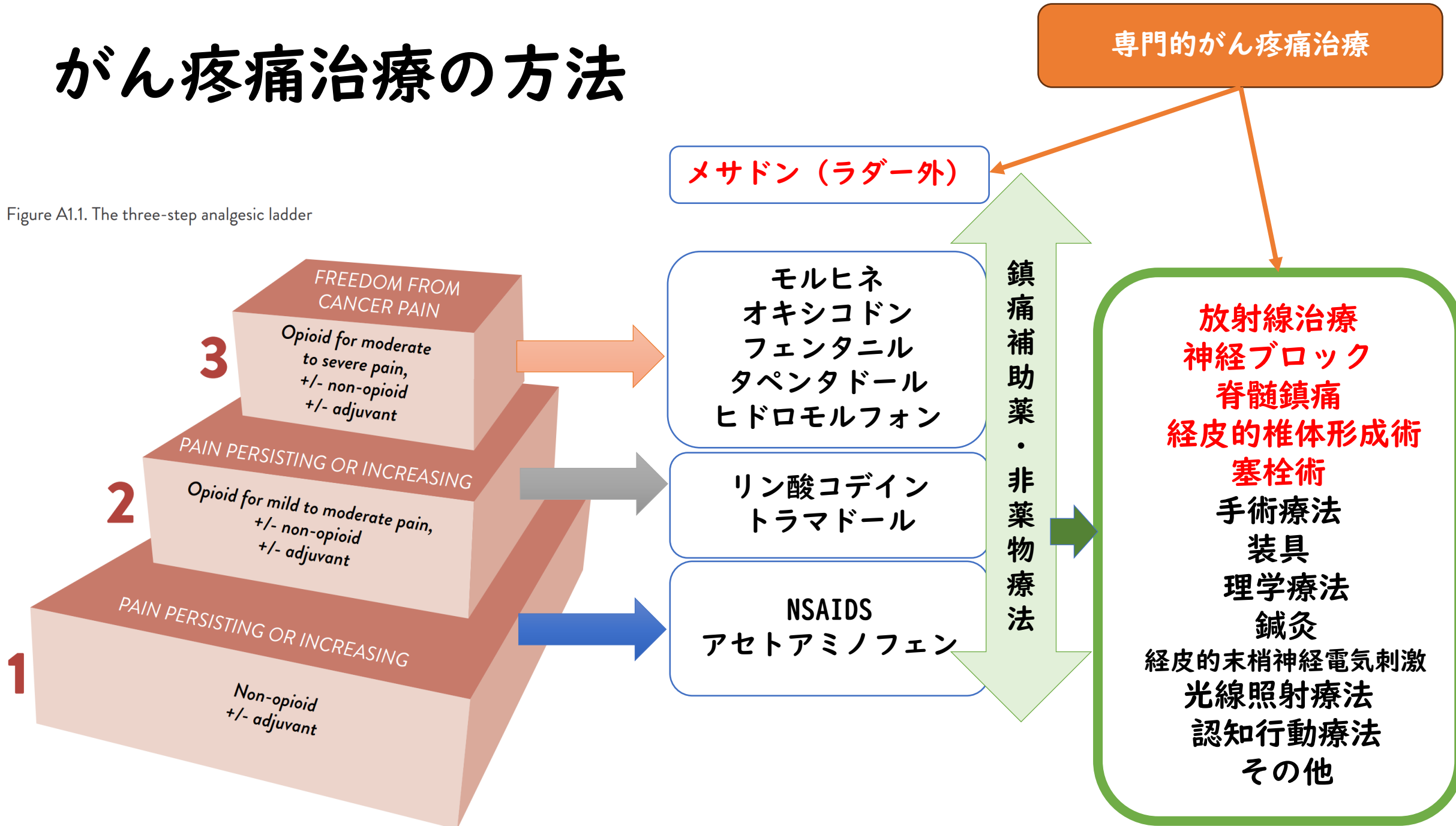
がん疼痛治療の方法

Figure A1.1. The three-step analgesic ladder



がん疼痛治療の方法

Figure A1.1. The three-step analgesic ladder



内容

- **がん疼痛治療の本邦の状況**
- **専門的がん疼痛治療に関する実態調査**
 - 2019-2021厚労科研「がん患者の療養生活の最終段階における体系的な苦痛緩和法の構築に関する研究」班 調査
- **専門的がん疼痛治療コンサルテーションシステムについて**
 - 2022-2024厚労科研「がん関連苦痛症状の体系的治療の開発と実践および専門的がん疼痛治療の地域連携体制モデル構築に関する研究」班

厚労科研「がん患者の療養生活の最終段階における
体系的な苦痛緩和法の構築に関する研究」班
(班長：里見絵理子)

難治性がん疼痛に関する実態調査

分担研究者：

国立がん研究センター東病院 緩和医療科

松本禎久

研究協力者（順不同）：

聖隷三方原病院 緩和支援診療科

森田達也

東北大学医学部 保健学科 看護学専攻

宮下光令

国立がん研究センターがん対策情報センター

加藤雅志

東北大学大学院医学系研究科 緩和医療学講座

井上 彰

順天堂大学大学院医学研究科緩和医療学

水嶋章郎

佐賀県医療センター好生館 緩和ケア科

小杉寿文

国立がん研究センター中央病院 放射線診断科

曾根美雪

聖マリアンナ医科大学放射線治療学講座

中村直樹

順天堂大学大学院 緩和医療学講座

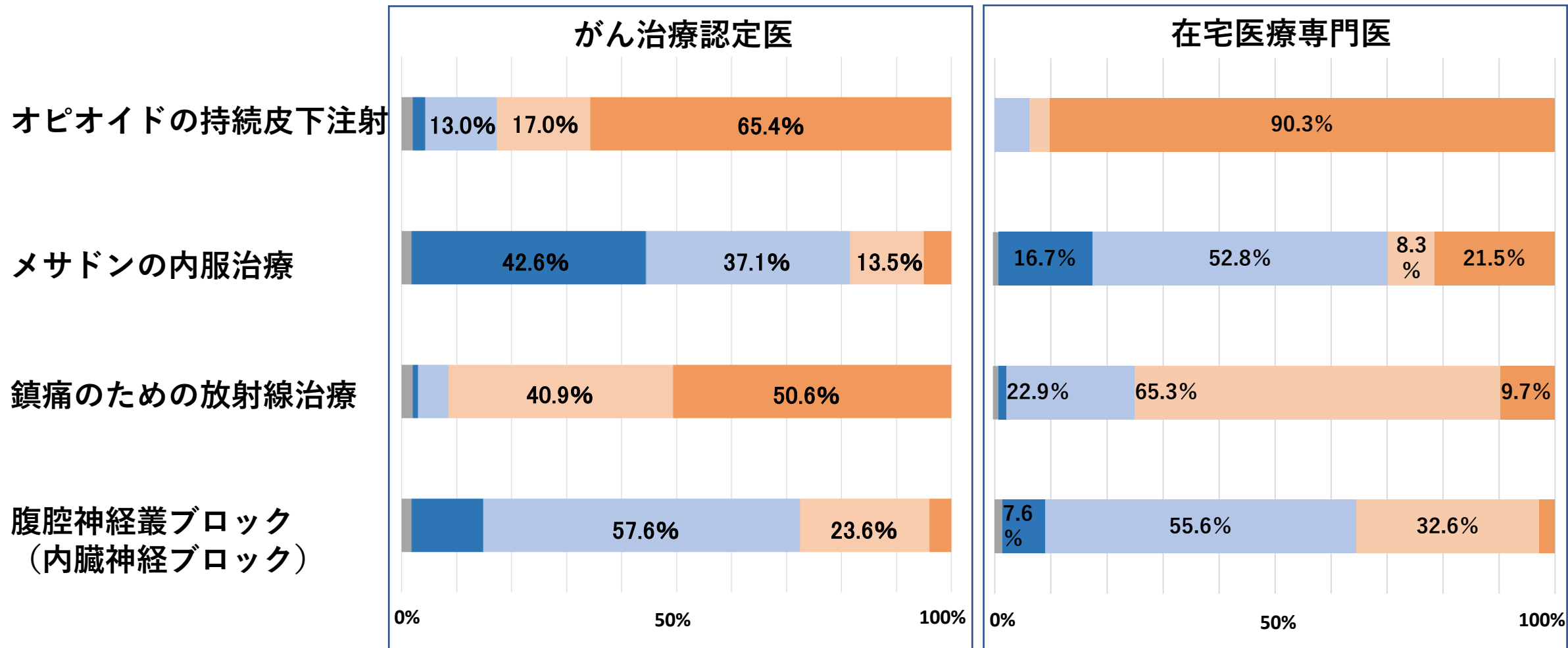
上原優子

がん疼痛患者を診療する各専門医の
専門的がん疼痛治療の利用や知識に関する調査

難治性がん疼痛に関する専門医対象全国調査

有効 回答数	緩和医療専門医・緩和医療認定医（日本緩和医療学会）	49.2/759名 (64.8%)
	ペインクリニック専門医（日本ペインクリニック学会）	545/1112名 (49.0%)
	IVR専門医（日本インタベンションラジオロジー学会）	554/1087名 (51.0%)
	がん治療認定医（日本がん治療認定医機構） *全数167171名より乱数表にて抽出）	412/800名 (51.5%)
	在宅医療専門医（日本在宅医療連合会）	144/308名 (46.7%)
方法	質問紙調査 背景・難治性がん疼痛治療の経験、認識、障壁、教育に関する質問	
実施時期	2020年2～3月 送付～回収	2020年4～5月 集計

がん治療医・在宅医 難治性がん疼痛治療の経験



■ 治療法を知らない ■ 治療法は知っているが自分の担当患者に治療を行ったことはない
■ 他の医師によって自分の担当患者に治療を行ったことがある ■ 自分自身によって治療を行ったことがある ■ 無回答

緩和医療専門医・認定医

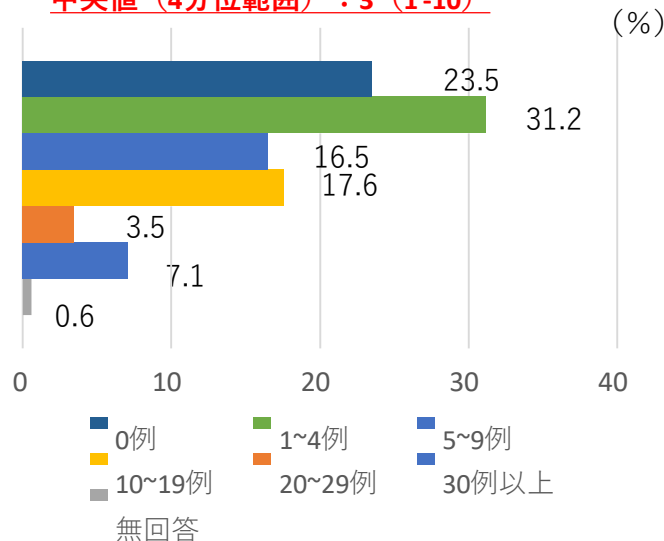
がん疼痛に対するメサドンの内服治療の実践について

3) あなた自身は、過去3年間でおよそ何例くらいに実施しましたか。

緩和医療専門医

平均+標準偏差：7.75±13.7

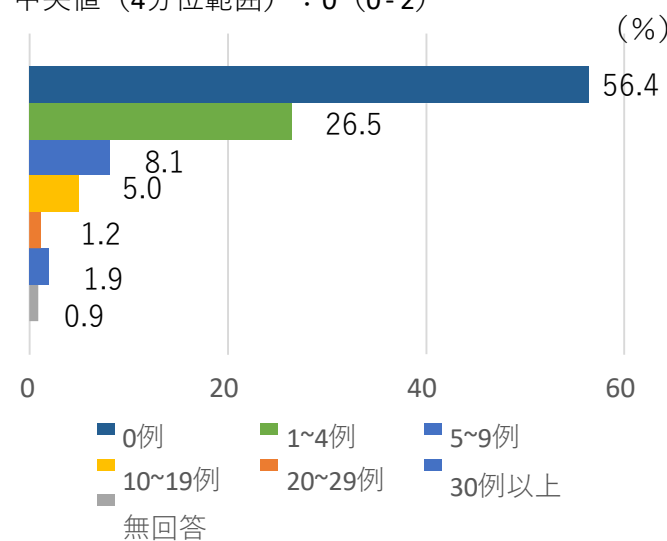
中央値(4分位範囲)：3(1-10)



緩和医療認定医

平均+標準偏差：2.56±6.88

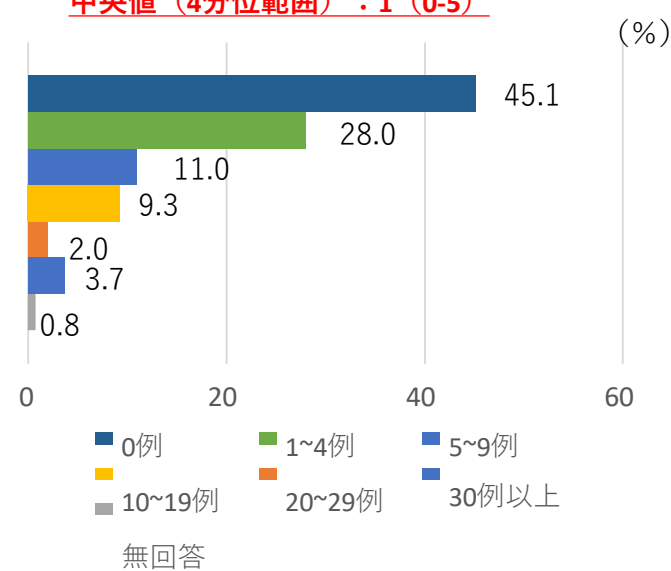
中央値(4分位範囲)：0(0-2)



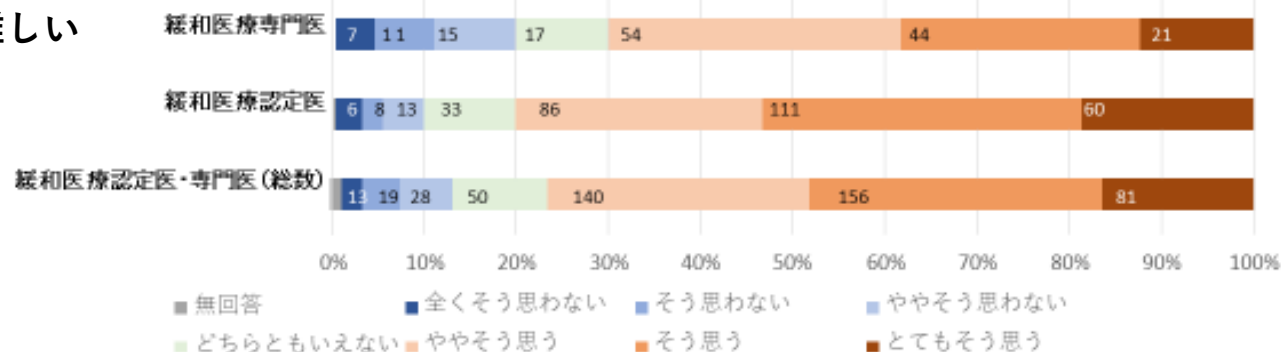
緩和医療専門医・認定医(総数) 平均+標準

偏差：4.35±10.11

中央値(4分位範囲)：1(0-5)

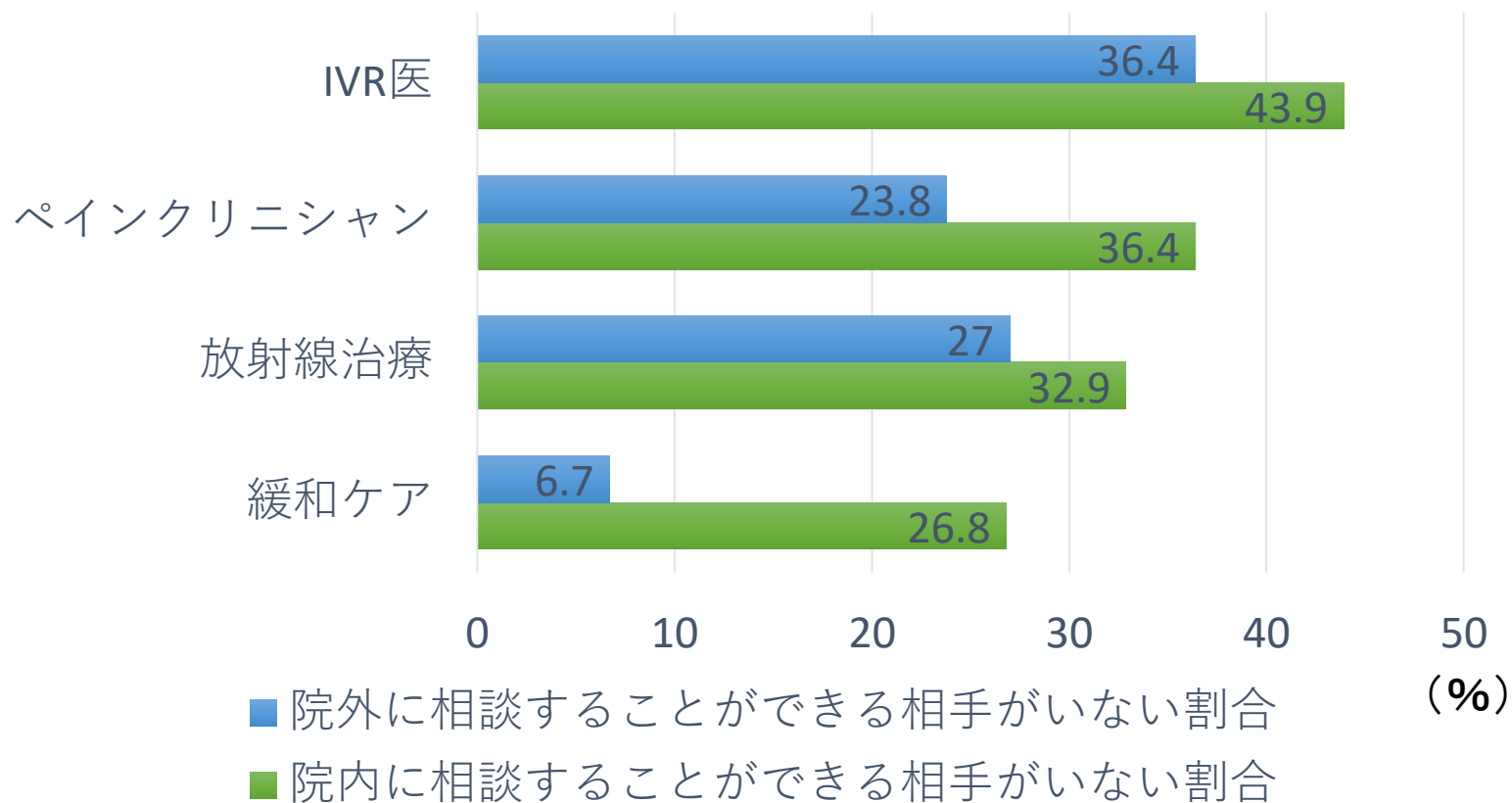


6) 症例数が少ないため、経験を積むことや技術の取得が難しい



緩和医療専門医・認定医

患者の痛みがコントロールできないときに相談する相手



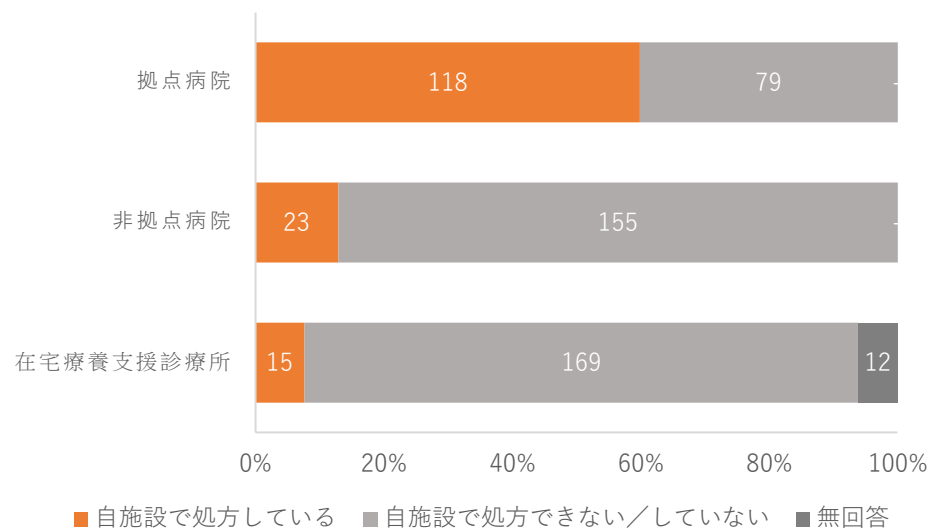
専門的がん疼痛治療の医療機関調査

難治性がん疼痛に関する医療機関対象全国調査

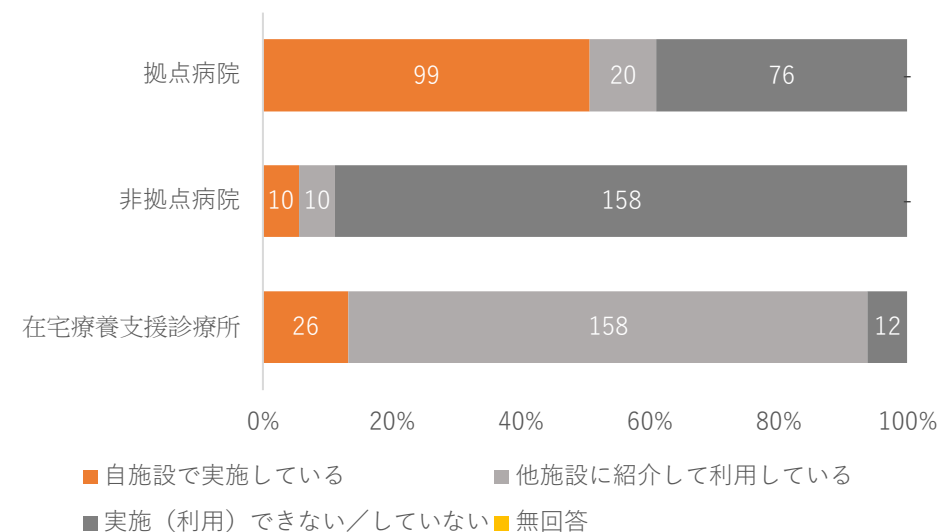
有効回答数	がん診療連携拠点病院（全施設対象）	199※/402施設 (49.5%)
	がん診療連携拠点病院以外の病院（抽出）	198※/1000施設 (19.8%)
	在宅療養支援診療所（抽出）	196※/1000施設 (19.6%)
方法	質問紙調査 (施設背景・がん疼痛治療の臨床の実際や連携に関する質問)	
実施時期	2021年1～4月 2021年4～5月	送付～回収 集計

※ 各質問領域ごとに回答数が異なるため、各対象グループの最大回答数

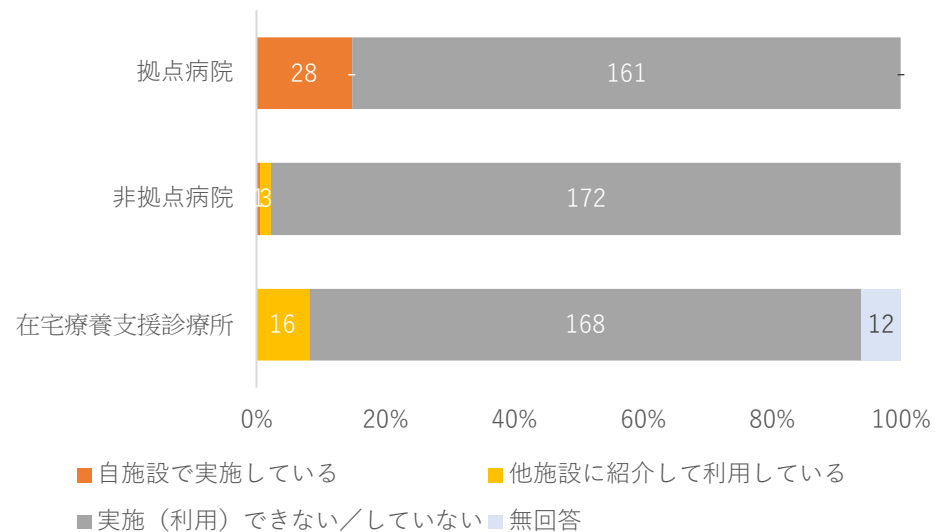
メサドンの処方について



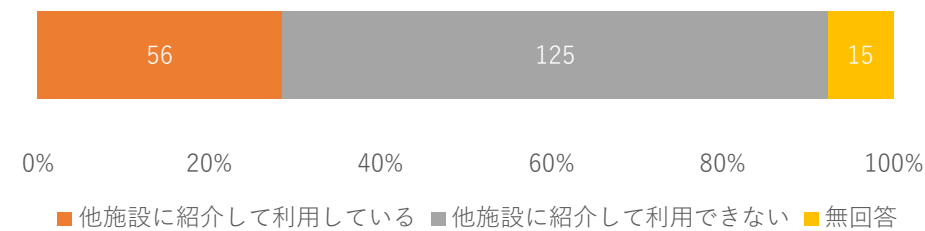
膵臓がんに対する腹腔神経叢/内臓神経ブロック



骨転移痛に対する動脈塞栓術



在宅療養支援診療所における緩和的放射線治療



一定数のがん疼痛担当医師は孤独・・・
何とかできないか・・・



内容

- **がん疼痛治療の本邦の状況**
- **専門的がん疼痛治療に関する実態調査**
 - 2019-2021厚労科研「がん患者の療養生活の最終段階における体系的な苦痛緩和法の構築に関する研究」班 調査
- **専門的がん疼痛治療コンサルテーションシステムについて**
 - 2022-2024厚労科研「がん関連苦痛症状の体系的治療の開発と実践および専門的がん疼痛治療の地域連携体制モデル構築に関する研究」班

厚生労働科学研究費補助金(2022-2024) がん関連苦痛症状の体系的治療の開発と実践および専門的がん疼痛治療の地域連携体制モデル構築に関する研究班(里見班) 活動概要

「がん患者の療養生活の最終段階における体系的な苦痛緩和法の構築に関する研究(19EA1011)」班における成果

- ・ 痛み、呼吸困難、終末期過活動せん妄に対する体系的治療法(アルゴリズム)の構築と病院における実施可能性
- ・ 難治性がん疼痛治療実施および提供に対する阻害要因の抽出

研究代表者： 国立がん研究センター中央病院 里見絵理子

分担：がん疼痛の体系的治療実践に関する研究
東北大学 田上 恵太

分担：呼吸困難に対する体系的治療に関する研究
聖隷三方原病院 森 雅紀

分担：終末期過活動せん妄に対する体系的治療に関する研究
聖隷三方原病院 今井 堅吾

分担：在宅医療における終末期過活動せん妄体系的治療に関する研究
筑波大学 浜野 淳

分担：専門的がん疼痛治療の地域連携体制モデルの構築に関する研究
がん研究会有明病院 松本 禎久

分担：専門的がん疼痛治療の地域連携体制モデルの構築に関する研究
埼玉医科大学 高橋 健夫

分担：専門的がん疼痛治療の地域連携体制モデルの構築に関する研究
国立がん研究センター中央病院 曾根 美雪

「専門的がん疼痛治療の地域連携体制モデルの構築に関する研究」

- ・ 専門的がん疼痛治療に関する情報提供基盤を構築する
- ・ 研究協力医療機関にて連携モデル体制を構築・実践し、評価し(実施件数、連携における課題の抽出)、政策提言する
 - ・ 緩和的放射線治療
 - ・ 画像下治療・神経ブロック 等

痛み、呼吸困難、終末期過活動せん妄(在宅や複合症状例を)専門的がん疼痛治療利用の促進によるあらゆる場面での難治性

地域連携基盤：医療者が専門的がん疼痛治療の適応など相談するためのプラットフォーム

はじめに

本システム「CHALLENGE-CanPain（ Consultation Hub of speciAList-LinkaGE of maNaGEment of difficult-to-treat Cancer Pain）」は、コントロールに難渋するがん疼痛の緩和のための遠隔コンサルテーションシステムです。電子メールのような情報のやりとりを専用システムを用いて安全におこなうことができます。

本システムを用いることで国内の医師であればどなたでも、難治性がん疼痛に対する専門的治療に関する相談(緩和的放射線治療、神経ブロック、動脈塞栓術や椎体形成術など画像下治療メサドンによる薬物療法等)を診療経験が豊富な専門家(コンサルタント)に無料でおこなうことができます。

まずは「システム利用にあたっての流れと注意事項」をお読みいただき、システム登録申請を行ってください。システム登録後に本システムをご利用いただけます。

システム利用にあたっての流れと注意事項 >

システム登録申請 > 証明書発行 > システムログイン >

利用可能者：医師

Home Page：<https://challenge-canpain.net>

上記ホームページは開設済みです。
システム利用申請をしていただけたら
アカウント発行がされて利用できます。



【CHALLENGE-CanPain】利用者登録フォーム



【CHALLENGE-CanPain】専門的がん疼痛治療コンサルテーションシステム <consultant-support@challenge-canpain.net>
宛先 里見 絵理子

※このメールは専門的がん疼痛治療コンサルテーションシステムから自動で送信しています。

以下の URL からシステム利用者の申請を行ってください。

<https://user.challenge-canpain.net/signup?id=xE3s-hx7Akij4UQBfESIWaZVwjbhvo1N>

※このメールは、送信専用メールアドレスから配信されています。

ご返信いただいてもお答えできませんので、ご了承ください。

※このメールに心当たりがない方、またはご不明な点がある方は

XXX

までお問い合わせください。

※個人情報の取扱いについては個人情報保護方針をご覧ください。



職場 | はじめに | CHALLENGE-CanPain | CHALLENGE-CanPain

https://user.challenge-canpain.net/signup?id=xE3s-hx7Akij4UQBfESIWaZVwjbhvo1N

CHALLENGE-CanPain

利用規約確認 > メール登録 > 情報の入力 > 内容の確認 > 送信

登録申請

ログインID	esatomi@ncc.go.jp
氏名(漢字) <small>必須</small>	里見 絵理子
ふりがな(かな) <small>必須</small>	さとみ えりこ
ローマ字表記 <small>任意</small>	
施設名 <small>必須</small>	国立がん研究センター中央病院
部署名 <small>必須</small>	緩和医療科
役職 <small>必須</small>	科長
郵便番号 <small>必須</small>	1040045
都道府県 <small>必須</small>	東京都
市区町村・番地 <small>必須</small>	中央区築地5-1-1
建物・棟・階 <small>任意</small>	
電話番号 <small>必須</small>	0335422511
内線番号 <small>任意</small>	
FAX番号 <small>任意</small>	
ご利用PCのOS <small>必須</small>	Windows 11
ご利用PCに搭載されているウイルス対策ソフト <small>必須</small>	Trend Micro Apex One
専門分野(いずれかから選択) <small>必須</small>	<input checked="" type="radio"/> 緩和ケア(緩和ケアチーム) <input type="radio"/> 緩和ケア(緩和ケア病棟) <input type="radio"/> ベイッククリニック <input type="radio"/> 腫瘍内科 <input type="radio"/> 腫瘍外科 <input type="radio"/> 放射線治療 <input type="radio"/> 画像下治療(IVR) <input type="radio"/> 在宅医療 <input type="radio"/> その他
本システムを知ったきっかけ(いずれかから選択 複数回答可) <small>必須</small>	<input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 新聞・雑誌 <input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 他の医師からの紹介 <input type="checkbox"/> 患者からの申し出 <input checked="" type="checkbox"/> その他

内容を確認

職場 | はじめに | CHALLENGE-CanPain | CHALLENGE-CanPain

https://user.challenge-canpain.net/signup?id=xE3s-hx7Akij4UQBfESIWaZVwjbhvo1N

CHALLENGE-CanPain

利用規約確認 > メール登録 > 情報の入力 > 内容の確認 > 送信

登録申請

利用者登録を受け付けました。

あなたの受付番号はS1569574です。

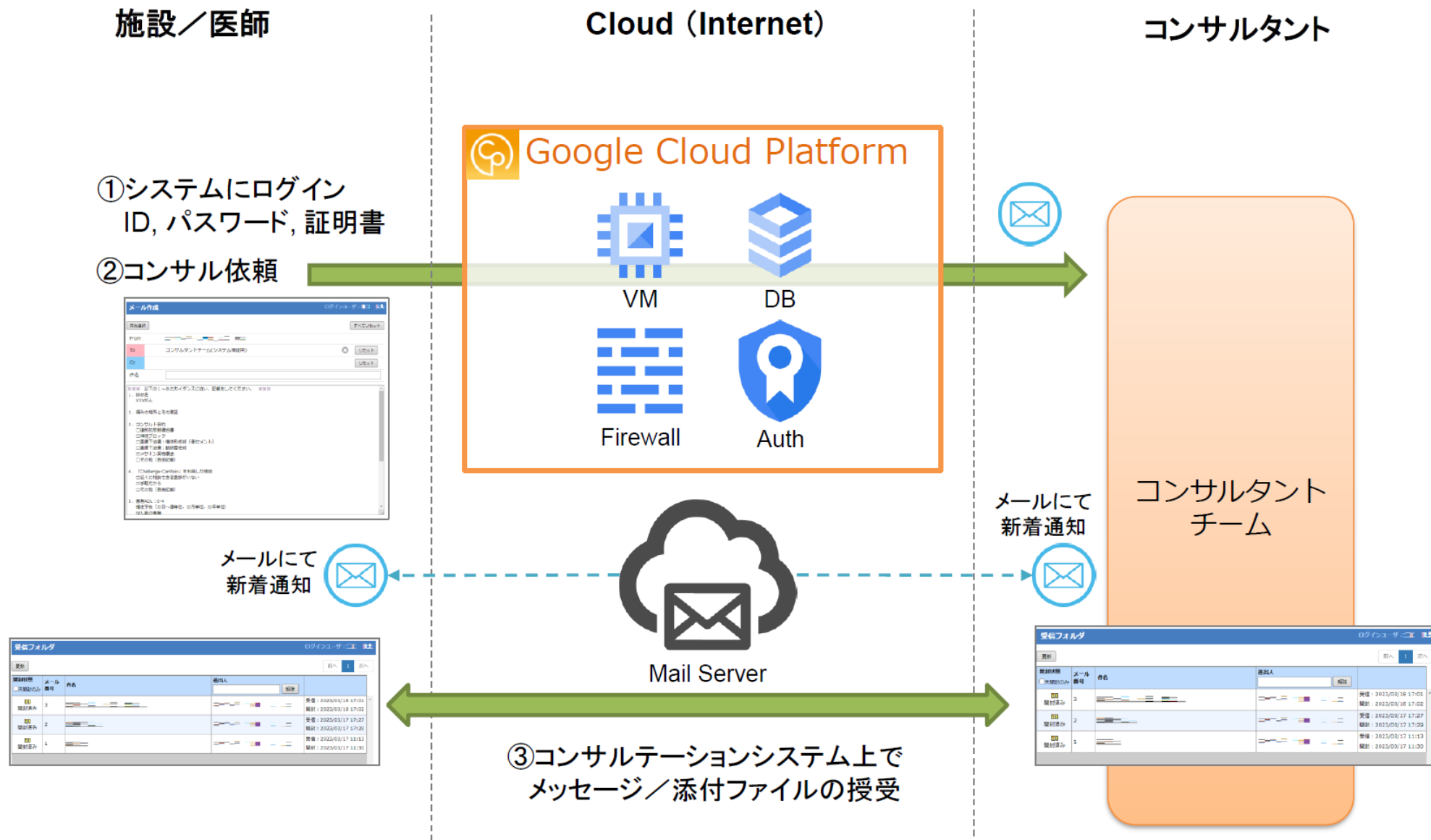
あなたのログインIDはesatomi@ncc.go.jpです。

当院で受付情報を確認の上、担当者からご連絡いたしますのでしばらくおまちください。

※ この画面は閉じてください



運用概要図 (利用者申請/登録)



Challenge-campaign コンサルタント

班長	里見 絵理子	国立がん研究センター中央病院	緩和医療科	医師
事務局	荒川 さやか	国立がん研究センター中央病院	緩和医療科	医師
放射線治療	高橋 健夫	埼玉医科大学総合医療センター	放射線腫瘍科	医師
	中村 直樹	聖マリアンナ医科大学病院	放射線治療科	医師
	萬 篤憲	国立病院機構東京医療センター	放射線治療科	医師
	全田 貞幹	国立がん研究センター東病院	放射線治療科	医師
	安田 茂雄	千葉労災病院	放射線科	医師
	清原 浩樹	前橋赤十字病院	放射線治療科	医師
	三輪 弥沙子	仙台厚生病院	放射線科	医師
	大久保 悠	佐久医療センター	放射線治療科	医師
	西村 岳	市立福知山市民病院	放射線科	医師
	渡辺 未歩	千葉大学	画像診断・放射線腫瘍学	医師
IVR	曾根 美雪	国立がん研究センター中央病院	放射線診断科	医師
	三村 秀文	聖マリアンナ医科大学病院	放射線診断・IVR科	医師
	新槇 剛	静岡県立静岡がんセンター	IVR科	医師
	加藤 健一	岩手医科大学	放射線診断科・放射線治療科	医師
	荒井 保典	国立がん研究センター東病院	放射線診断科	医師
	西尾福 秀之	奈良県立医科大学	放射線診断・IVR講座	医師
	大島 拓美	国立がん研究センター中央病院	放射線診断科	医師
神経ブロック&緩和ケア	松本 禎久	公益財団法人がん研究会 有明病院	緩和治療科	医師
	水嶋 章郎	順天堂大学	緩和医療学研究室	医師
	上原 優子	順天堂大学浦安病院	緩和医療科	医師
	小杉 寿文	佐賀県医療センター好生館	緩和ケア科	医師
	三浦 智史	国立がん研究センター東病院	緩和医療科	医師
	橋口 さおり	聖マリアンナ医科大学病院	緩和医療学	医師
	平川 麻美	聖マリアンナ医科大学病院	緩和医療学	医師
	中山 隆弘	飯塚病院	連携医療・緩和ケア科	医師
	山田 博英	聖隷浜松病院	緩和医療科	医師
	山代 亜紀子	洛和会音羽病院	緩和ケア内科	医師
	大西 佳子	京都市立病院	緩和ケア科	医師
	下川 美穂	つくばセントラル病院	緩和ケア科	医師

1. CHALLENGE-CanPain トップページ (<https://challenge-canpain.net/>) から「システムログインボタン」をクリックしてください。



はじめに

本システム「CHALLENGE-CanPain (Consultation Hub of speciAList-LinkagE of maNaGement of difficult-to-treat Cancer Pain) 」は、コントロールに難渋するがん疼痛の緩和のための遠隔コンサルティングシステムです。電子メールのような情報のやりとりを専用システムを用いて安全におこなうことができます。


本システムを用いることで国内の医師であればあなたでも、難治性がん疼痛に対する専門的治療に関する相談(緩和的放射線治療、神経ブロック、動脈塞栓術や椎体形成術など画像下治療メサドンによる薬物療法等)を診療経験が豊富な専門家(コンサルタント)に無料でおこなうことができます。

まずは「システム利用にあたっての流れと注意事項」をお読みいただき、システム登録申請を行ってください。システム登録後に本システムをご利用いただけます。


システム利用にあたっての流れと注意事項 >

システム登録申請 > 証明書発行 > **システムログイン >**

2. ログイン画面が表示されますので、ご自身のアカウント（メールアドレス）とパスワードを入力し、ログインボタンをクリックしてください。



専門的がん疼痛治療コンサルテーションサービス

 CHALLENGE-CanPain

Login アカウント

パスワード

メール作成 ログインユーザ: [ユーザー名]

宛先選択 すべてリセット

From: [病院名]

To: コンサルタントチーム リセット

Cc: リセット

件名:

※※※ 以下の1~8のガイダンスに従い、記載をしてください。 ※※※

1. 診断名
2. 痛みの場所とその原因
3. コンサルト目的
 - 緩和的放射線治療
 - 神経ブロック
 - 画像下治療：椎体形成術（骨セメント）
 - 画像下治療：動脈塞栓術
 - メサドン薬物療法
 - その他（自由記載）
4. 「Challenge-CanPain」を利用した理由
 - 近くに相談できる医師がない
 - 手軽だから
 - その他（自由記載）
5. 患者ADL：0-4
 - 推定予後（日～週単位、月単位、年単位）
 - せん妄の有無
 - 止血・凝固異常の有無

添付ファイル

<input type="button" value="ファイルを選択"/>	選択されていません	<input type="button" value="クリア"/>
<input type="button" value="ファイルを選択"/>	選択されていません	<input type="button" value="クリア"/>
<input type="button" value="ファイルを選択"/>	選択されていません	<input type="button" value="クリア"/>

画像添付

1. 診断名
2. 痛みの場所とその原因
3. コンサルト目的
 - 緩和的放射線治療
 - 神経ブロック
 - 画像下治療：椎体形成術（骨セメント）、 画像下治療：動脈塞栓術
 - メサドン薬物療法
 - その他（自由記載）
4. 「Challenge-CanPain」を利用した理由
 - 近くに相談できる医師がない
 - 手軽だから
 - その他（自由記載）
5. 患者ADL：0-4、推定予後（日～週単位、月単位、年単位）、せん妄の有無、止血・凝固異常の有無
6. 現在使用している鎮痛薬
7. 治療に影響を及ぼす既往症・合併症・内服薬の有無
8. その他 相談したいこと（自由記載）

個人情報を含めないでください！

- ✓ Web上でSecureな環境でのコンサルテーション
- ✓ 画像添付可能
- ✓ 事務局によるふりわけ→簡単な相談が可能
- ✓ 緩和ケア医、放射線治療医、ペインクリニシャン、IVR医による回答

専門的がん疼痛治療コンサルテーション



- * 単回放射線治療の相談
- * オピオイドを使ってもがん疼痛が緩和しない
- * メサドン使った経験がないが相談したい
- * ブロックやIVRの適応があるのかわからないなど

Challenge-canpain

2023年12月 運用開始
実施可能性を調査していきます

がん疼痛cancer pain とキャンペーン (運動) campaignをかけて
canpain という造語になっています。

利用について

- パターン1

がん拠点病院PCTからの相談

- パターン2

実地医家からの直接の相談

⇒この場合、一般的なアドバイスと共に、地域の利用可能なリソースにつなぐことが目標。

今後の予定

- 全国的なコンサルテーションシステムの実証を行ってまいります。
- 各拠点病院において地域の専門的がん疼痛治療対応可能なリソースの把握とともに、地域での緩和ケア相談窓口の役割をご担当お願い申し上げます。
- 拠点病院緩和ケアチームにおいて院内外からの相談で難治性疼痛でお困りの症例がございましたら、ご利用いただけましたら幸いです。